

ココシリ

「ここが知りたい」
国際協力に関する
いろんなトピックを
分かりやすく解説します！

「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)」 国際会議

2013年6月開催に向けて オールジャパンで始動！

「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)」

開催日時：2013年6月1日(土)～3日(月)
開催地：神奈川県横浜市
主なテーマ(予定)：アフリカの「成長の加速化」



アフリカ大陸に「第5回」を意味する「V」の文字を
組み合わせたロゴ



2008年5月、横浜で開催された「第4回アフリカ開発会議」。



「TICAD V推進官民連携協議会 第1回会合」では、玄葉光一郎外相が「オールジャパンでアフリカの成長を支援し、日本の成長につなげたい」と述べた

2

013年6月1～3日、神奈川県横浜市で開催が予定されている「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)」。

1993年の第1回目から20年。開催まで1年を切った今、日本の外務省がけじめを取り、着々と準備が進められている。

TICADは5年に1度、アフリカの開発をテーマに日本のインシアチブで開かれる国際会議。アフリカの国家元首や首脳級らが日本で一堂に会し、貧困削減、平和の定着、教育、保健、衛生環境の向上といった従来の課題とともに、インフラ整備や貿易・投資の促進、人材育成など、アフリカのさらなる成長に向けた取り組みなどが話し合われてきた。08年に横浜市で開催されたTICAD IVにはアフリカ51カ国が参加。

加。アフリカの産業育成に必要な4つのキーワード「適切な政策」「商品開発」「中小企業育成」「民間企業の社会貢献」が提示され、これらに沿った支援が展開されてきた。

民間企業の代表が出席。対アフリカ貿易・投資を促す官民連携の在り方、アフリカビジネスの現状、投資促進に必要な対策などが話し合われ、資源だけでなく付加価値を高めるための産業投資や人づくりが必要など、6月12日には「第1回TICAD Vに関する外務省・NGO対話」が行われ、アフリカ開発における政府とNGOの連携の在り方などが議論されている。

来年6月に向けて、日本国内ではさまざまなアフリカ関連のイベントが開催される予定。アフリカを身近に感じる絶好の機会だ。

10

月9～14日、「国際通貨基金(IMF)・世界銀行年次総会」が東京で開催される。日本での開催は2回目、東京オリンピックが開かれた1964年以来、48年ぶりとなる。

IMF、世界銀行年次総会は、毎年秋に行われる定例会議。3年に1度、IMFと世界銀行が拠点を置くアメリカのワシントンDC以外で開催されることになっており、今年も東日本大震災後の復興の歩みを進めている日本が、その経験を世界と共有したいという思いも込めて手を挙げた。

IMFは、世界や加盟国の経済状況を把握し、国際収支が悪化した国に対する融資や技術支援を通じて、国際システムの安定性を確保することを基本的な使命としている。一方で世界銀行は、融資や政策助言などを通じて、開発途上国の貧困削減や発展を支援す

国際会議

「国際通貨基金・世界銀行年次総会」 世界経済の「再出発」を 日本から発信

ることが活動の目的だ。総会では、各国から財務相・中央銀行総裁が集まり、主要会議を行うほか、「二国間会談やG7、G20といった主要国財務相・中央銀行総裁会議などの国際会議やイベント」が開催される。

さらに、政府だけでなく、金融機関や市民団体など民間セクターからも多数の関係者が集まり対話やネットワーキングの機会が提供されるなど、大小約200の会議やイベントが行われ、非公式も含めて2万人が参加する世界最大規模の国際会議になる。

2012年は、日本がIMFと世界銀行に加盟して60年の節目に当たる。東京での開催を通じて震災からの復興や日本経済の底力を世界にアピールするとともに、欧州の債務危機など不透明性が増す世界経済の「再出発」を日本から発信していく。

ODA政策

2013年度予算概算要求 ODA予算の 増額を打ち出す

例えば、日本の優れた環境・エネルギー分野の技術を途上国の開発に生かす海外展開支援事業に、無償資金協力、技術協力合わせて210億円を要求。スマートコミュニティなど環境配慮型の都市づくりを支援するとともに、日本の技術・システムの売り込みにもつなげたい考えだ。

また、ODAを通じて日本の先進的な医療サービスや医療機器の海外展開を支援し、途上国の医療向上につなげる取り組みには57億円を計上。中小企業の技術・製品の海外展開を支援するための事業も強化する方針だ。

「国際通貨基金・世界銀行年次総会」

開催日：10月9日(火)～14日(日)
会場：東京国際フォーラム、帝国ホテル、ホテルオークラ東京



開催予定のセミナーのテーマ(一部)

- ・財政リスクと金融の安定
- ・天然資源の適切な管理
- ・民間セクターにおける女性
- ・アフリカのエネルギーに関する課題
- ・変化する世界におけるアジアの役割

2013年度予算概算要求 ODA予算「特別枠」のキーワード

1. 「グリーン」

日本の企業・自治体の経験や技術を活用し、環境に優しいグリーン経済の実現に向けたインフラ整備を支援。気候変動対策の一環として、エネルギーや上下水道などの分野での協力も実施。



カンボジアで長年にわたり水道事業の支援に取り組む北九州市

2. 「ライフ」

ODAを通じて、日本の先進的な医療サービス、医療機器などの海外展開を後押し。国内の医療機関、中小企業を含む医療機器メーカーと連携し、途上国の医療分野の支援を強化。



テルモ株式会社のカテーテル技術を学ぶメキシコの研修員